

福島第一原子力発電所 5・6号機の現状について

(5・6号機低レベル滞留水の状況)

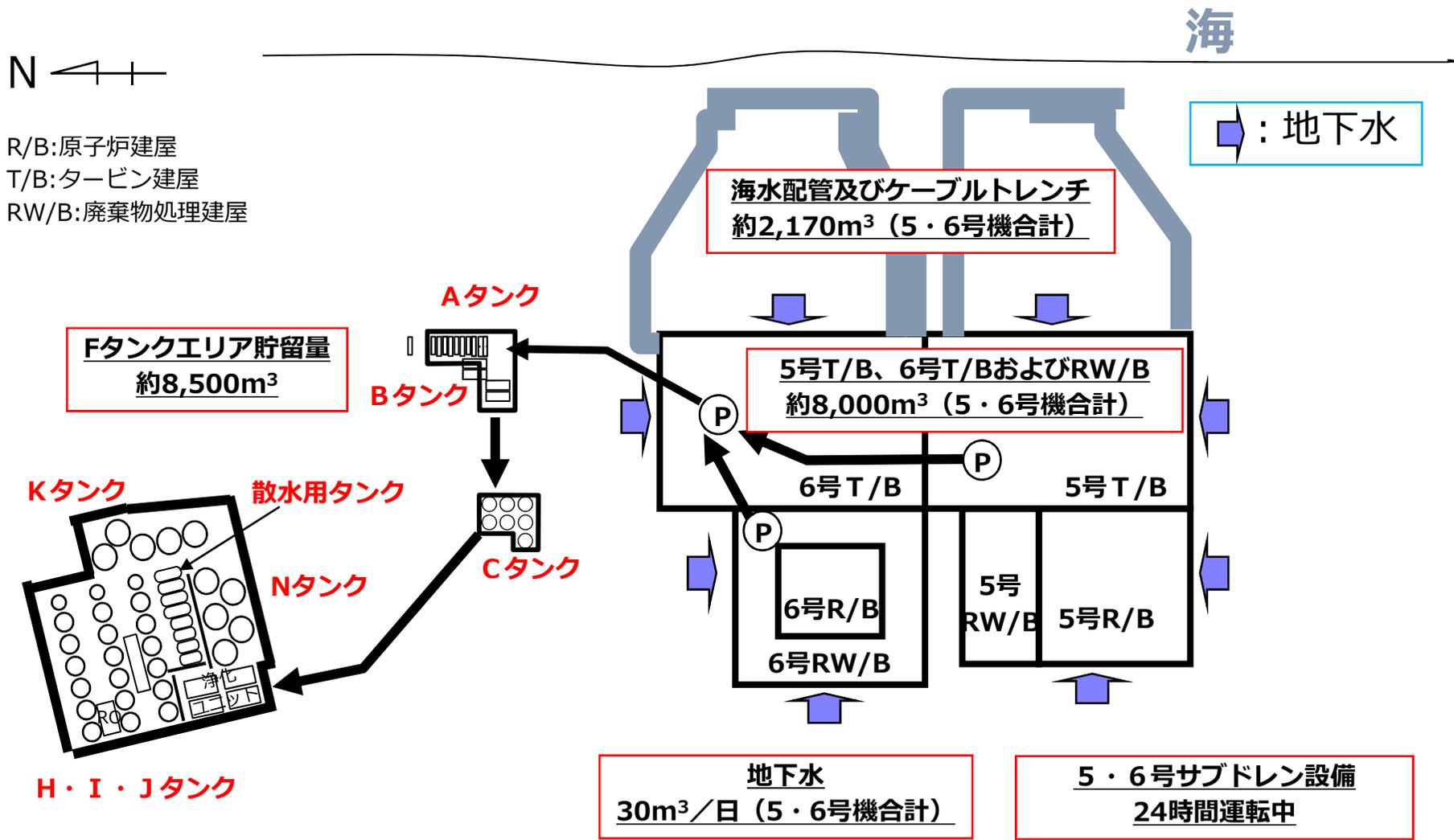
2022年 12月 22日

東京電力ホールディングス株式会社

TEPCO

1. 5・6号機 低レベル滞留水量※1の状況

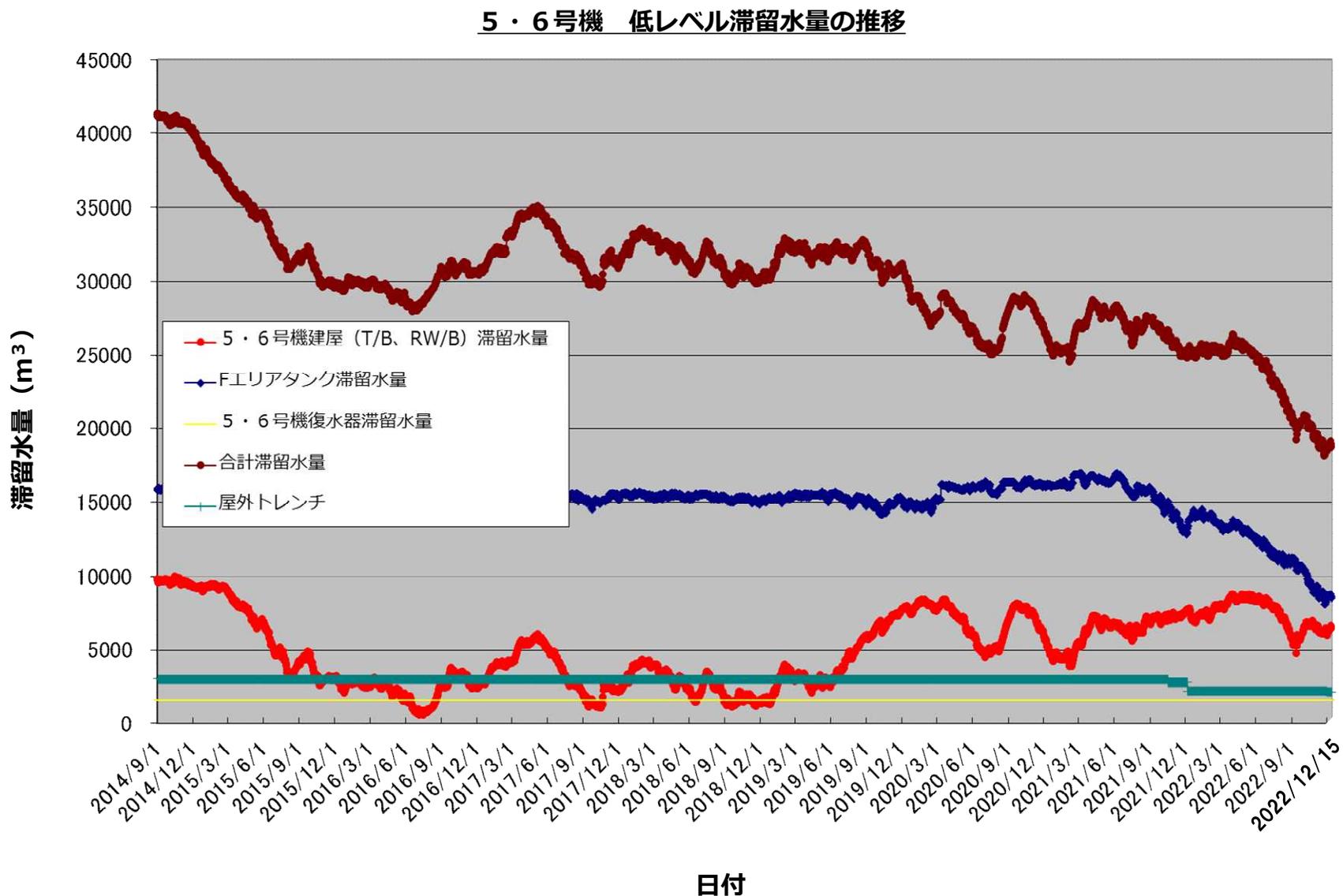
5・6号機 低レベル滞留水量の合計約18,670m³ (2022.12.15現在)



※1 : 5・6号機滞留水は、1-4号機滞留水と比べ放射能濃度が十分低いため、区別する目的で「低レベル滞留水」と記載する。

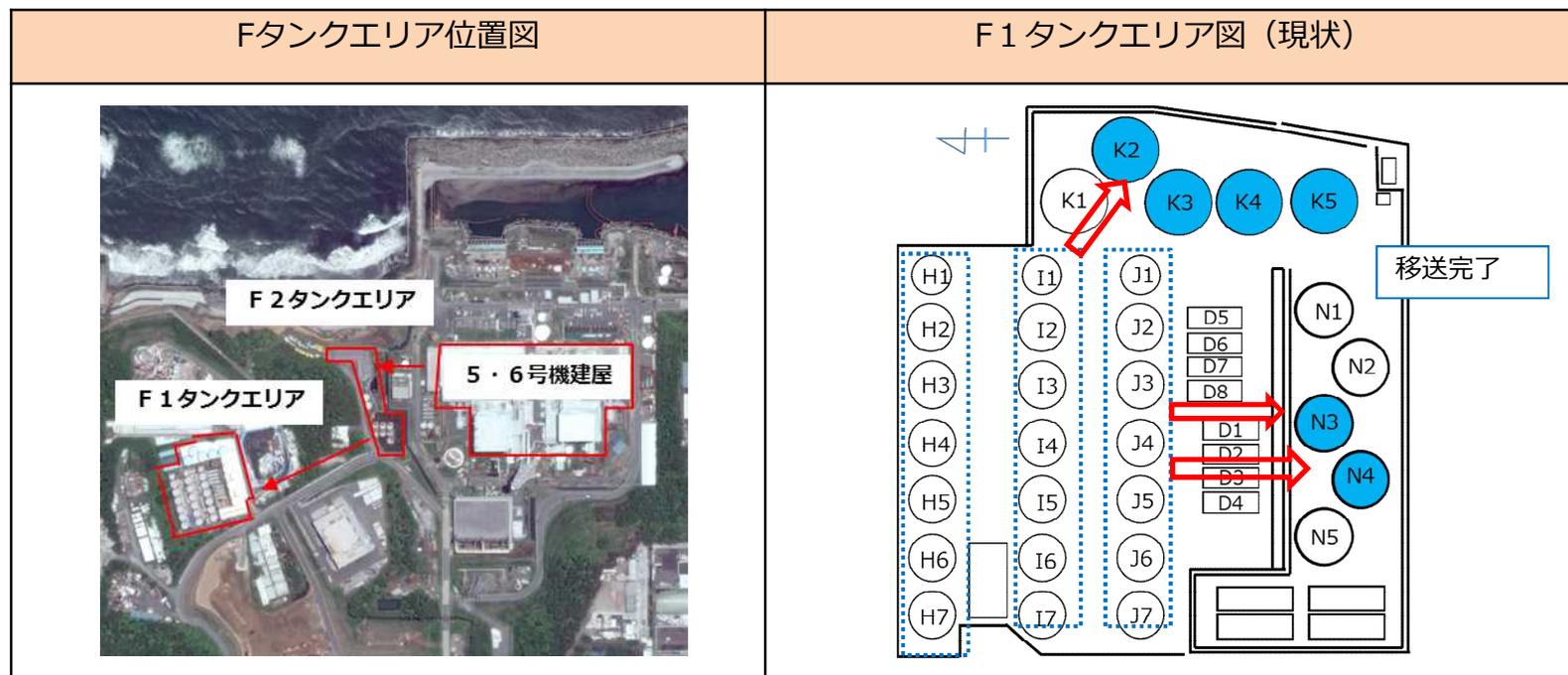
2. 5・6号機 低レベル滞留水量の推移

- 2014年9月から2022年12月までの5・6号機 低レベル滞留水量の推移は以下のとおり

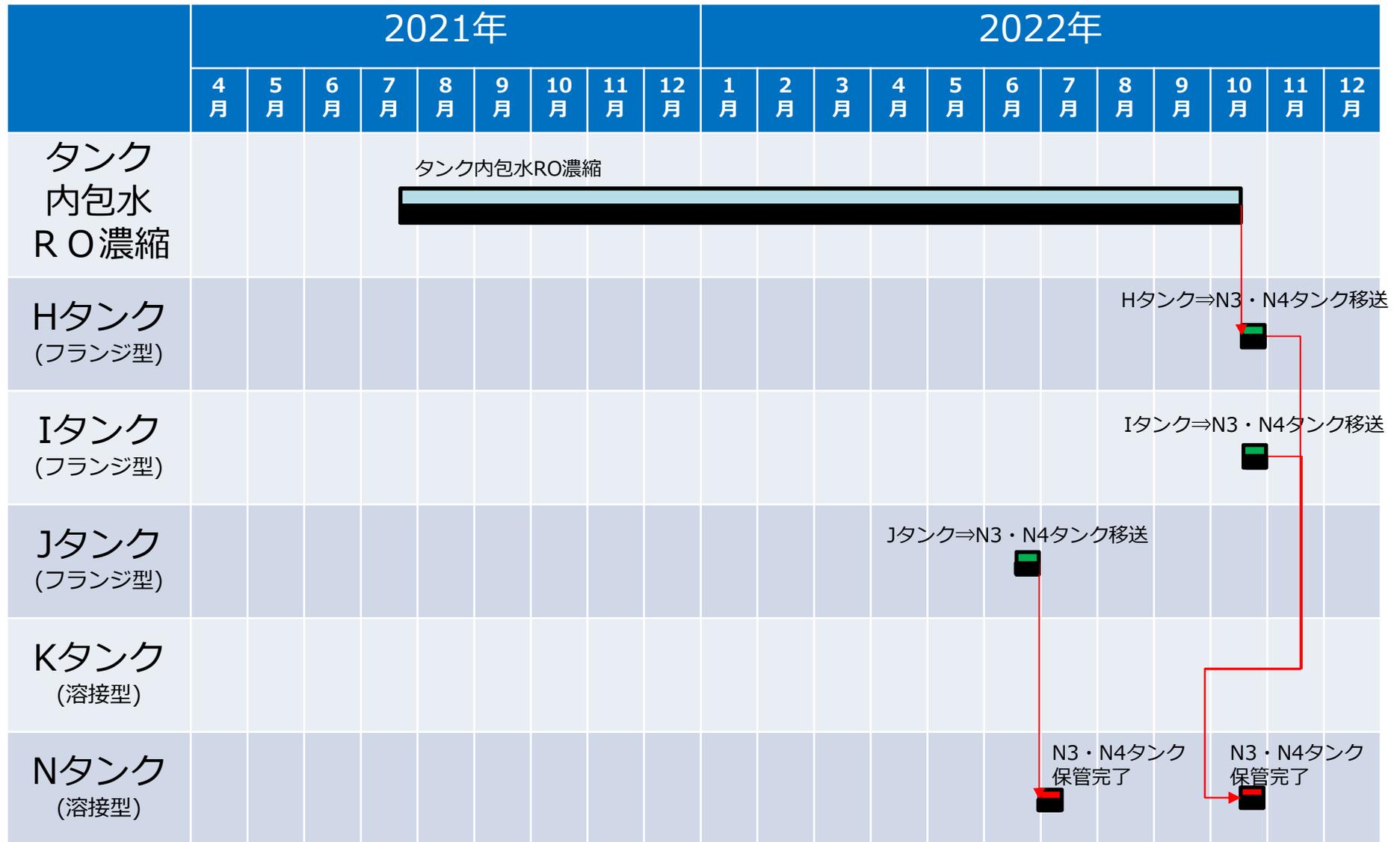


3. F1タンクエリア群フランジ型タンク内包水移送について

- F1タンクエリア（5・6号機滞留水貯留タンクエリア）のH・I・J群タンク(フランジ型)の運用を停止するため、2021年7月より淡水化装置（以下、ROという）によるタンク内包水の浄化処理を開始し、処理済水は構内散水、浄化処理時に発生するRO戻り水を2022年10月末までに溶接タンクへ移送し、保管することになっている。
- 2022年6月20日よりJ群タンクのRO戻り水の溶接タンクへの移送を行い、2022年7月8日に完了。
- 2022年10月20日よりH・I群タンクのRO戻り水の溶接タンクへの移送を行い、2022年10月28日に完了。これにより、F1タンクエリアフランジ型タンク群(21基)のタンク内包水の移送は完了した。



4. F1タンクエリアフランジ型タンク内包水移送スケジュール



■ : 実績線

<参考> 5・6号機 サブドレン集水設備の稼働状況（2022年12月15日現在）

- 5・6号機サブドレン設備は2022年3月28日より運用（移送）を開始
- 現在、計画点検のため全台停止中（2022年12月12日～12月21日）
- 点検終了後、12月下旬に稼働予定

